



(社)全日本不動産協会・(公社)不動産保証協会 富山県本部会員の会報誌

全日とやまニュース

第18号



新年のごあいさつ

(社)全日本不動産協会 富山県本部長 小 竹 茂 樹

新年明けましておめでとうございます。

保証協会に続いて、全日本不動産協会も公益社団法人への移行が認可されました。

今年4月1日より、公益社団法人 全日本不動産協会となります。胸を張って業務に取り組み、不動産業務を通じて、県民への積極的に働きかけを行いましょう。私も本部長として皆様の先頭に立って、県内各方面への積極的な情報発信を行ない、『動く広告塔』として頑張ります。会員皆様と一体となって頑張りますので、本年もよろしくお願いいたします。

《地域社会との連携強化の取組みの概略》

- ① 中部北陸8県との連絡を密にする。11月8日には、中部・北陸地区 取引・苦情処理業務指導者研修会を富山で開催予定
- ② 会員拡大により富山県本部の存在感を高める
- ③ 全国不動産会議、とりわけ研修分科会への参加（10月24日 鹿児島県）
- ④ 宅地建物取引主任者免許更新の講習会の主催（平成25年度8月、2月）
- ⑤ 宅地建物取引主任者免許試験への試験官の派遣
- ⑥ 不動産無料相談会の定期開催
- ⑦ 会員相互の情報交換により、ビジネスの成功を勝ち取る
- ⑧ 中古住宅流通促進協議会の活動を通して、宅建協会との共同の取組み
- ⑨ 北陸三県の連携強化。第3回ゴルフコンペの開催（9月予定）



新春にあたって

副本部長 新川支部長 高倉 亜洲夫

皆様明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

いよいよ今年4月1日より(社)全日本不動産協会も、一昨年12月の不動産保証協会に引き続き、公益社団法人に移行することが決まりました。

このことは、協会にとりましても、個々の会員にとりましても、大変名誉なことであり喜ばしいことではありますが、反面、より一層それぞれの責任と義務が求められるようになります。

名実ともに公益法人として認められる団体になっていくように、努力していかなければならないと思います。

さて、今年の県本部としての大きな事業計画としましては、

- ① 中部北陸地区運営協議会の苦情処理研修会を成功させる(11月富山市にて開催予定)
- ② 昨年設立された、富山県中古住宅流通促進協議会の運営の促進と啓蒙
- ③ 宅地建物取引主任者資格試験への試験官の派遣
- ④ 公益法人化後の無料相談会のあり方と消費者への啓発
- ⑤ 会員拡大を図る為の諸施策の推進

等々があります。

今後とも、会員の皆様の絶大なご協力とご理解をお願い致します。



新年の挨拶

副本部長 富山市支部長 田中 賢治

平成25年の新春を迎え 謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、会員の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

1月の研修会でも話しましたように、県本部200名会員体制の早期構築に向けて、今期15名の新規会員増員目標を掲げスタートしましたが、残す事1ヶ月余りと成り残念ながら7名の新規登録に滞ってます。

3月5日の開業セミナーも含め入会見込者を追求して掘り起こし、少なくとも10名の新規会員増に持って行きたいと思ってます。

会員の増強は永遠の課題です。すぐ開業と云う方でなくとも、開業セミナーは来期も6月、8月、10月、12月、3月、に予定してますので、是非声掛けして誘って下さい。必ず自己啓発に繋がると思います。

さて富山市支部ですが、2月21日に第4回の情報交換会を第一ホテルのレストランで実地いたします。ランチミーティング形式ですので多くの方の参加をお待ちしてます。また、その後引き続き役員会を開催致しますので役員の方宜しくをお願いします。

年初からいわゆる「アベノミクス」と云われる効果で、景気も良くなるのでは?と思われる現象が現実味を帯びていますが、環境の変化をチャンスと捉え、より元気で活力有る協会を目指して、全協会員の皆様が希望に満ちた飛躍の年となります様互いに頑張りましょう。

再度、新規、会員増強への参画が、そのチャンスを捉える近道だと、肝に銘じて頂きたいと願っています。



新春のご挨拶

副本部長 呉西支部長 大坪 隆

平成25年という新しい年を迎え謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

昨年11月、富山県中古住宅流通促進協議会が設立され、また、12月には高岡市(建築住宅課)の呼びかけで高岡市空家活用推進協議会が設立されました。当面は宅建協会高岡支部が中心となり本年から実質の活動を開始するものと聞いています。

そこで、私達呉西支部も高岡市へ協力の意思表示をし、この1月には宅建協会高岡支部と第一回目の打ち合わせをする予定です。会員数では到底太刀打ち出来ないのですが、中身で勝負と考えています。

現在、呉西支部の会員は40社となっています。昨年以上に、勉強会(ランチミーティング)・不動産無料相談会の定例会を充実させ、会員各々が積極的に働きかけ、出席率を上げ、会員全体のスキルUPを図り、呉西支部全体をさらに活性化し、また、平成25年度中に呉西支部新規会員を5社増員し、会員数45社となるよう活動していきたいと思っています。

今年一年、(社)全日不動産協会富山県本部及び呉西支部の発展の為、微力ながら全力を尽くす所存でございますので、何卒今後共一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上、平成25年新春の決意と誓いと致します。



「協会運営は全会員で」

専務理事 財務委員会 財務委員長 南 部 公志郎

社団法人全日本不動産協会富山県本部に入会して十年が過ぎ、入会年数では中堅クラスになりました。十年未満の会員が三分の二を占め、やる気のある若々しい協会になってきています。

各部会の部長・部員の方々や各支部の活発な活動により、法定業務研修会をはじめとした各種行事に、多くの会員が参加されるようになりました。会員増強に関しては、目標の「二百社（安定した協会の運営に必要な会員数）」にはまだまだ届きませんが、開業セミナーや無料相談会、宅建取引主任者講習会や、法定業務研修会の一般開放などの効果が着実に表れています。各会員の参加意識が、協会の運営や発展に繋がっていきます。

来年度は役員改選の年です。みなさん、積極的に協会運営に関わって下さい。支部役員や各部会の部員になって、協会行事への参加者から協会運営の方へと立場を変えて協会を見て下さい。必ずや新しい視点で事業展開が出来ます。一緒にやりましょう。



「街中がもっと元気に」

研修委員会 委員長 藤 井 誠

北陸新幹線の開業が目の前になってきました。そのことを実感する取り組みが富山市内にあっては、富山駅南の銀行・ホテル等が立ち並ぶ街区が都市計画決定され、再開発事業が本格化。また、「旧大和跡地」には、銀行・ガラス美術館・図書館の建設が決定し、解体工事が始まりました。国道41号線に面する総曲輪西街区では、シネコン・ホテル等の商業施設立地が、具体化してきています。分譲マンションの人気は街中の限られたエリアに集中し、まだまだ建設が行われるようです。もちろんこのような取り組みは富山市だけでなく、各市町村も新幹線開業を機に、さまざまな施策を実現化し、街中を活性化していきたいと目論んでいます。

確かに街が整備され街中居住人口が増え、市内・県内はもちろん県外からの施設利用者が増加し、ホテルに県外言葉が溢れ、デパートの各階が賑わい、良い企画の美術館があり、しゃれた喫茶店や富山でしか手に入らない物をお店や映画などの娯楽施設が人々の要望要求に応えてくれれば、「活性化」の言葉は生きてくると思います。

かつて繁華街と呼ばれた西町・総曲輪・中央通り一帯にいくつの映画館があったことだろう。日本映画の封切上映館4館・洋画は3館ありました。現在、総曲輪通りに上映館として1館だけある『フォルツァ総曲輪』。

この『フォルツァ総曲輪』が、とっても元気である。富山県内にある「シネコン」では観ることができない秀作・佳作を上映してくれて、います。昨年亡くなった映画監督・若松孝二の問題三部作「連合赤軍あさま山荘への道程」「キャタピラー」「三島由紀夫 11.25 自決の日」を、監督自ら舞台挨拶し、後の2作には主演の俳優・井浦新を伴って劇場に来てくれて映画ファンを喜ばせてくれました。最近も数々の世界映画祭で賞をとったイラン映画監督が舞台挨拶で映画を解説してくれました。『フォルツァ総曲輪』これからも目が離せないワクワクする映画館です。

「街中がもっと元気に、ワクワク」なるには、鉄道や道路の整備、人を呼べる施設の建設はもちろん重要です。でも、そこに夢を持って働く「ひと」が現れてこそ街中が面白くなってくるように思います。

「新年の挨拶」と依頼で書き出したらこんな挨拶になってしまいました。今年も研修委員会をどうぞよろしくお願いします。

特別研修会「DVD研修・何でも語ろう会」を3月26日（火）午後1時30分～3時30分 全日県本部研修室で開催します。テーマは『契約関連業務トラブル未然防止ポイント』です。会員の皆様の出席を待っています。



新年のご挨拶

企画広報委員会 委員長 田 開 寛

初春のお慶びを申し上げます。

さて、企画広報委員会では2カ月に1度全日ニュースを発刊しておりますが、さらに内外に向けて協会の活動を発信すべく、昨年ホームページをリニューアルいたしました。

情報の発信源として、ホームページの役割は非常に大きなものになっています。一般の方にもわかりやすく活動を伝えることによって、会員の皆様のお仕事に結び付くことができればと思っています。

もっと中身を充実させ、全日を広くアピールしていくことによって、会員増強につながることも期待しています。

会員の皆様におかれましては、全日ニュースへの投稿はもとより、ホームページへの自社情報やイベント情報などの掲載ご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。



新年のご挨拶

倫理綱紀委員会 委員長 富 樫 宗 治

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、私にとりまして幾つかの出会いに恵まれ、皆様の推薦により、社団法人全日本不動産協会創立 60 周年・公益法人不動産保証協会創立 40 周年記念式にて功績章の受賞を賜り誠にありがとうございました。

当社の業務にしている宅地分譲地も当初計画よりも遅れを生じ、躊躇していたところ、他の方からご紹介を受け開発工事を行えた為、工事完了前より多数の口コミによる買入れ申込みを頂き、以前に開発した分譲地も多くの紹介者のおかげを持ちまして残りも少なくなりました。媒介業務も大手企業からの依頼等がある等、24 年度はいろんな方々の応援を頂けたと思っています。

良い事ばかりではありません。仕事納めの 31 日は近所の方、仕事始めの 4 日には同級生の葬儀にそれぞれ参列したりしこれは人生のいたずらかとも思いました。1 月 8 日読売新聞の記事「100 歳現役サラリーマン “働けるというのはありがたいこと”」を読み、自らの人生を力強く歩む人に思考を巡らせ、考えを熟成させてその人にしか語れない言葉に感銘を受けました。神奈川県藤沢市の福井太郎さんが語る「普通じゃ 100 歳までは勤められないですね、働いていた方が人生に張りがあるじゃないですか」等の言葉が掲載されていました。

私は 54 歳で宅建の試験に合格し、翌年に現所在地にて開業に至ってます。

また、今まで地域の多くの方々より支援を頂き業務以外の 300 戸余りある町内神社総代、松尾山常福寺の門徒総代、地区の土地改良区理事、町ライオンズクラブの奉仕活動をしながら地域の活性化に努め、体が続く限り現役で、やりがいのある本職を成し遂げたいと思っています。

さて、平成 24 年度の倫理綱紀委員会に取り上げた件数は 2 件でした。1 件はホームページ・テレビでの二重価格表示違反と、北陸不動産公正取引協議会よりの調査依頼である 11 月中の新聞折り込み広告での違反は、社名漏れが 1 件ありましたが、指導のみで解決しました。

終わりにになりましたが、会員皆様の堅実な取り組みと健康で繁栄されますようお祈り申し上げ、今年もよろしく御支援御鞭撻のほどお願いします。



新年のご挨拶

取引苦情処理委員会 委員長 六 渡 勝 義

皆様、新年明けましておめでとうございます。不動産無料相談会、苦情の処理解決にご協力をいただき誠にありがとうございます。昨年は東北大地震、原発事故等日本がとても大変な年でしたが、私の乏しい経験と不確かな記憶で少し昔を振り返ってみます。

昭和 48 年、私が宅建免許を取った翌年です。不動産ブームが到来し、物件は片っ端から売れました。町の米屋さんも建て売り住宅を売るというにわか不動産屋もありました。当時はまだ民間の大型開発は無く、田んぼを 1、2 枚を買って造成して販売していました。30 坪あまりの土地に 400 万円位の 1 戸の建て売り住宅、浴槽も流し台のついていない家もあったようです。

長男が生まれた年、凶面を貰い販売を依頼された物件の中の一軒を、屋根瓦を葺き始めたころ勇んで買いに行きました。「お前も不動産屋やろ、今頃来て。基礎工事を始めた頃にみんな売れたわ!」。今考えるとうらやましい時代でした。そのころは業者の鼻息も荒く、少々無理も売り主の論理が通っていたようです。

その後生活向上につれ、住宅の品質も向上し、省エネ、断熱化、床暖房、システムキッチン、バリアフリー、オール電化等々と大きな進歩をしています。それにつれ法律面の整備も進みました。当然私達不動産業者にとっても高いハードルが課せられました。その一つに重要事項の説明書の交付が義務づけられました。この厳しい状況下においても全日会員は広報、研修会等を通じて日々研鑽に励んでいます、トラブル苦情が無いわけではありません。私たち苦情処理委員はその解決に誠意を尽くして当たっていきます。

会員の皆様には今後とも苦情の解決、不動産無料相談会に引き続きご協力頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。



新年のご挨拶

組織活動部会 部長 澤 田 稔

会員の皆様方には、清々しい年をお迎えになられた事と思います。

昨年は、全日の長年の夢でありました「宅地建物取引主任者法定講習会」の開催から早や6年となり、更にもう一步前進すべきと活動をした結果、そのポスターに願書の受付場所として全日富山が明示される様になりました。また、本年より「宅地建物取引主任者資格試験会場」に、全国の全日県本部に先駆け全日富山から試験会場担当者の派遣をする様に活動を拡げたいと思っております。その事により、一層の全日富山の存在感をアピールし、組織拡大に繋げたいと思っております。

また、昨年は県内の14企業・団体の組織で構成する「富山県中古住宅流通促進協議会」設立の中心となり、富山県の空き家解消事業に向けスタート致しました。前例のないこの協議会事業の推進により森林資源の有効活用から環境保全に繋がり、会員の不動産事業拡大になる事必須であります。

これから益々増えるであろう「空き家」対策には、私達の出番が多く、防災・防犯・環境整備等の観点からも地域づくりに幾許かの貢献ができるものと確信しています。

本年は、この新事業の展開において会員の皆様がもっと仲介をし易くする為にも、メリットの有る様な施策を創出し安定事業に発展させる様努力致していきます。勿論、この協議会を通じての仲介物件には、金融機関・検査機構等の優遇措置が適用される事となります。

これからも、諸施策をもっと進化させ、全日富山そして会員の皆様の経営基盤の安定に少しでも役立てられる事を念頭に活動して参ります。本年もよろしくお願い致します。



新年のご挨拶

会員サービス部会 部長 伏 間 洋

新年明けましておめでとうございます。

会員サービス部会の担当を指示されて、早いもので、もう2年経ってしまいました。

3年前、役員をお断りしたつもりがそうでなく、1年間知らないまま欠席になっていた大変申し訳ないと思い、改めて2年間役員をお受けする事に致しました。2年間の短期間ではございましたが、事務局の皆様他、同サービス部会の南部様、森林様、全会員の皆様、誠にありがとうございました。

今年は不動産保証協会に次いで、不動産協会も4月には公益社団法人の認定も受けられる予定との事で、いよいよ全日不動産富山県本部が県民の皆様に、胸を張って積極的にお役に立てる事になる年でもあります。

2年間役員をさせて頂き、小竹本部長を中心に丸として活動されている事を実感いたしました。現在会員数154名(H24.12.31)を200名体制の大目標も必ずや達成する事、間違いないと思います。

業界では、住宅は内需の柱、還付など消費税率引上げ分の負担軽減を、との声で大変な1年になるかと思われませんが、全日不動産は大地にしっかり立ち、計画的に一つ一つ実行し会員を拡大して行けば良いと思います。その為にも各部会も、当会員サービス部会も指示に従い、どの様にすれば良いか対策を実行して行き、予算には限りがあるので、その中で出来ることをしっかりやれば良いと思います。

ファミリーボーリング大会、全日不動産主催の北陸三県不動産協会ゴルフ懇親会、旅行会も工夫して楽しい全日不動産を目指して皆さん頑張りましょう！



新年のご挨拶

研修部会 部長 車 谷 伊佐一

新年明けまして、おめでとうございます。研修委員会より謹んでご挨拶を申し上げます。さて、新年の初めにあたり、平成25年度事業計画につきまして、ご報告いたします。

第1・法定研修について…宅建業法第64条3及び6に基づき、年間15時間以上の研修時間が義務付けられています。H25年度は、第1回目5月、第2回目7月、第3回目11月、第4回目1月の開催予定です。各開催実施2か月位前より会員の皆様より事前に質問事項等を集約し、講師の先生より指導等を行っていただくなど、中身の濃い法定研修を行いたいと考えています。この研修の目的は、宅建業に必要な知識の向上等と、紛争を未然に防止し、かつ消費者の保護を基本としています。また、業法の基本をしっかり身に付け、円滑な事業活動を行う為の研修と考えています。

第2・特別研修について…会員皆様の悩み事及び業務に関し分からないこと等を中心に、「何でも語ろう会」を開催し問題の解決を図りたいと考えます。また、総本部より送付されている、DVDの鑑賞研修等も行い、新しい知識・日常の業務の再点検等に生かせればと考えています。

第3・その他…宅地建物取引主任者講習(更新)について今年度は、8月・2月に開催予定です。年間80名以上の受講者を目標に全力で取組みたいと考えていますので、会員の皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

以上、H25年度研修委員会の事業計画等につきましてのご報告と、新年のご挨拶といたします。



年頭のご挨拶

相談役 高田 政公

明けましておめでとうございます。会員の皆様には、ご家族共々お健やかに、平和な新春をお迎えになられたことをお慶び申し上げます。

さて、いよいよ2013年の幕が開きました。

マスコミでは、辰巳の景気にあやかり年度当初から株価ダウ平均が大台に乗りました。アベノミクスと言って、長期のデフレを脱出し、物価上昇2%を目標に大胆な金融緩和や公共事業の拡大・雇用の拡大60万人という施策を実行しようとしています。これによって影響を受けるのは、先ず建設・不動産業が先行することになります。

また、8%の消費税アップの前の駆け込み需要が見込まれ正に業界全般が活気を帯びてくるバブルムードが感じられるようになってきました。ここで我々は、過去のバブルの反省を踏まえて、その後の人口減少や景気後退期の不動産市場を見据えた戦略的ガバナンスが必要であると思います。そして変化の年であるだけにユーザー目線が益々重要になってくるので、この期を逃がさず着実に事業の推進を図られるよう期待致します。



新年のご挨拶

事務局次長 長井 甚一

皆様明けましておめでとうございます。会員の皆様には健やかに新年をお迎えになられた事と思います。

昨年の4月より全日富山県本部の事務局にお世話になり、初めての新年を迎えました。業務については、半人前どころか解らない事ばかりで、事務局の方や会員の皆様方に助けられながら、業務をしているところです。

今年も、事務局として、会員の皆様の要望等をスピーディーに少しでもお応え出来たらいいなと思っております。また、各研修会開催へのフォローや無料相談会開催・不動産業開業セミナー開催等の手助けが出来ればと思っております。

事務局一員として、事業計画に沿った活動内容並びに地域や会員の話題を提供し、「連帯」と「絆」の協会に努めていきたいと思っておりますので、役員並びに会員皆様方のご指導並びにご鞭撻方宜しく願いいたします。

尚、今年の中部・北陸地区 取引・苦情処理業務指導者研修会が11/8(金)富山県開催されますので、ご協力をお願い申し上げます。

平成24年度第4回 法定業務研修会

研修委員会 部長 車谷 伊佐一

平成25年1月16日(水)、ANAクラウンプラザホテルにて、平成24年度最後の法定業務研修が開催されました。

当日は、新年初めの顔合わせと言うことも有り、多数の会員の方が参加されました。まず小竹本部長の新年の挨拶があり、その中で新規会員の募集の推進についての協力要請がありました、我々も自分のことと考え決意も新たにしたところです。

続いて、第一部に小竹本部長より「広告と宣伝」について講義を受けその中で、罰則規定についての部分が大変重要な所だったと思います。

第二部は、富山税務署資産税部門専門官 金津利博様より、平成24年度税制改正のあらましについての講義を受け、特に我々の業務遂行上不可欠な、資産税(譲渡所得税等を中心に)解りやすく説明していただきました。(税の申告の仕方記載例及びその解説書等も交えての講義でした)

第三部は、司法書士 宮本裕孝様より「旧民法と相続及び成年後見制度」について講義を受けました。解説書等も準備して頂きました、解りやすい講義だったと思います。

ただ、時間の制約から会員の皆様からの質問等の時間が取れなかったことが心残りです。今後は時間の制約と質問についてどう折り合いをつけるかが、課題だと考えます。



平成25年 富山県本部新年会の開催

平成24年度最後の研修会終了のあと、ANAクラウンプラザホテルの「鳳の間」にて新年会が開催されました。

新年初めての顔合わせとあって84名（内10名の来賓）が出席されました。

まず、小竹本部長より、新年早々、率先垂範決意の挨拶があり、続いて石井隆一富山県知事代理の土木部建築住宅課課長岡本達也様のご挨拶、参議院議員の野上浩太郎先生、参議院議員の広野允士先生よりご挨拶を賜りました。続いて富山市市議会議員の五本幸正先生のご発声で乾杯を行い、懇親会に入りました。

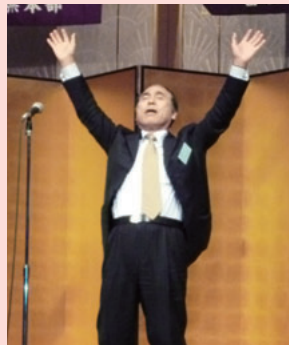
宴会と同時に「楽屋姫」によるフォークソングが流れ、曲に酔いしれ、田開理事の飛び入り参加もあり、会場内全員が聞き惚れていました。

また、来賓者として富山市都市整備部の粟島康夫部長、市議会議員の神田真邦先生、山本賢治法律事務所の山本尚宗先生も参加され、会員の方々と久しく談笑が絶えませんでした。

本会の司会者である㈱ビルトの大江さんによる名司会振りにより宴会も進み、最後に全日政治連盟富山県本部顧問の村井宗明様より、全日に対する熱いエールを込めた万歳三唱があり、当協会の小西相談役より「アロハーワッハッハ」の唱和を会場割れんばかりの大きな声で三度繰り返されました。

閉会の挨拶では、高倉副本部長より、本日ご参加の謝辞と会員が一丸となって今年1年頑張ろうというメッセージが発せられ、無事新年会がお開きとなりました。

平成25年1月28日 事務局





あたまの体操

宅地建物取引業者が行う宅地建物取引業法第35条に規定する重要事項の説明に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 建物の貸借の媒介を行う場合、当該建物が住宅の品質確保の促進等に関する法律に規定する住宅性能評価を受けた新築住宅であるときは、その旨について説明しなければならないが、当該評価の内容までを説明する必要はない。
- 2 建物の売買の媒介を行う場合、飲用水、電気及びガスの供給並びに排水のための施設が整備されていないときは、その整備の見通し及びその整備についての特別の負担に関する事項を説明しなければならない。
- 3 建物の貸借の媒介を行う場合、当該建物について、石綿の使用の有無の調査の結果が記録されているときは、その旨について説明しなければならないが、当該記録の内容までを説明する必要はない。
- 4 昭和55年に竣(しゅん)工した建物の売買を行う場合、当該建物について耐震診断を実施した上で、その内容を説明しなければならない。



不動産川柳

「雪積もり

除雪で冬の

「ダイエツト」厄あけ王子

「消費税

駆け込み需要

期待する」秋元

「思い入れ

査定に入れれぬ

苦しさよ」ヤス

「株高で

地価の底も

見えるかな?」おち竜

「ダイエツト

走った後の

ビールはうまい」かんすけ

「ほっとした

これで眠れる

この印で」えーじ

今後の主なスケジュール

答えは7ページの下

2月8日(金) 宅建取引主任者講習会	県民会館	3月8日(金) 不動産無料相談会	全日富山会館 10:00~13:00
2月15日(金) 不動産無料相談会	全日富山会館 10:00~13:00	3月15日(金) 不動産無料相談会	全日富山会館 10:00~13:00
2月22日(金) 不動産無料相談会	全日富山会館 10:00~13:00	3月22日(金) 不動産無料相談会	全日富山会館 10:00~13:00
3月1日(金) 不動産無料相談会	全日富山会館 10:00~13:00	3月26日(火) 「なんでも語ろう会」	全日富山会館 13:30~15:30
3月5日(火) 不動産開業セミナー	全日富山会館 14:00~16:00	3月29日(金) 不動産無料相談会	全日富山会館 10:00~13:00

編集後記



田開 (胸すまいるほーむ)
今年こそは
ダイエットするぞ!



真田 (真田不動産株)
今年も家族で
旅行するぞ!



高寄 (胸ベスト)
これから「忙」しい時期
を迎えますが、「心」を
「亡」くさない仕事を心
掛け頑張ってます。



堀井 (ティーズ)
10年ぶりにスキーを
しました。
滑っている時間より休憩
の時間が長かったです。
(笑)



秋元 (胸とやまチューリップホーム)
いよいよ春ですね。何か
と忙しいと思いますが
体調管理には気を付けて
下さい。



児玉 (南柴田商事)
田開さんのボール
すてきでした。



北村 (南匠住宅)
今年は雪が少なく、御客
様の動きも早そうです。
皆さんいかがですか?



荒木 (三建株)
昨年度末の衆議院選挙により自民党政権が復活しました。現在、
アベノミクス効果もあり順調に円安そして株価上昇中。われわれ
業界もこの波に乗り切れる1年としたいですね。

不動産川柳・旅行記・etc...大募集!!

行きつけのお店の紹介やペット自慢等、皆様の投稿お待ちしております。受付随時メール又はFAXにて事務局へご投稿下さい。
優秀作品には年度末に素敵なプレゼントがある?かも...



全日とやまニュース
第18号

発行日：平成25年2月20日

発行人：(社)全日本不動産協会富山県本部
企画広報委員会

発行所：〒930-0046 富山市堤町通り 2-1-25
TEL 076-421-1633 FAX 076-421-6188

E-mail: info@toyama.zennichi.or.jp
U R L: http://toyama.zennichi.or.jp